

30 MAR 2006



第28号

日米エアフォース友好協会

だ よ り

Japan America AF Goodwill Association

発行：日米エアフォース友好協会

〒105-0004 港区新橋5-25-1-3

編集：JAAGA事務局

印刷：財団法人 防衛弘済会

ホームページ：http://www.jaaga.jp/

# 平成17年度日米優秀隊員表彰

## 平成17年度日米優秀隊員表彰受賞者を決定 各基地において表彰

平成17年度のJAAGA賞の受賞者が決定されました。受賞者は次の7名の方々です。

本賞は、当協会の代表者により在日米空軍の各基

地で開催される米空軍年度優秀隊員表彰式において各受賞者に手渡されました。

受賞者の所属・氏名・功績等は次のとおりです。

基地	所属部隊	受賞者	功績の概要
三 沢	北部警戒管制団 第1移動警戒隊	准空尉 松川 寛直 	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 平成16年度三沢基地准曹会会長として各種日米交流を通じ相互理解と信頼増進に尽力</li> <li>* 日米下士官及び同家族間の親睦に貢献</li> </ul>
三 沢	第35航空団	軍 曹 ローレンスP. ハントIV 	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 監察先任軍曹として日米緊急事態訓練等に指導的役割を發揮</li> <li>* 秀でた日本語能力を駆使した諸活動は米軍と自衛隊の相互信頼と尊敬に寄与</li> </ul>
府 中	航空総隊司令部 監理監察官付	1等空曹 武田 宗朗 	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 府中基地と横田基地の日米家族交流を促進し、相互理解と信頼増進に寄与</li> <li>* 横田基地スペシャル・オリンピックス及び駅伝大会等へのボランティア活動を通じ日米下士官交流の促進に貢献</li> </ul>
入 間	航空開発実験 集団司令部 准曹士先任	准空尉 杉山 弘 	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 日米下士官交流を通じ空自・米空軍の相互理解と信頼増進に寄与</li> <li>* イラク人道復興派遣時、アリアルサレム空軍基地での日米交流を通じ日米下士官の福利厚生改善に尽力</li> </ul>
横 田	第36空輸隊	空軍大尉 ジェフリーJ. ダウンス 	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 平成17年10月、地元民間指導者等の横田基地視察に当り、綿密な計画と効果的研修により西太平洋に於ける米空軍任務の理解を深めるとともに地元支援活動の素地を養うに貢献</li> </ul>

基地	所属部隊	受賞者	功績の概要
那覇	南西航空混成団 司令部 総務部人事課	空曹長 上條 行雄 	* スペシャルオリンピック等の米軍行事に積極的に参加し相互理解に大きく貢献 * サマーフェスタ等航空自衛隊行事への米軍招待に尽力 * イラク人道復興支援要員等へ米軍人を招聘し英会話訓練を円滑に実施
嘉手納	第18航空機 整備中隊	空軍曹長 ゲーリーT. ベネット 	* 航空自衛隊の嘉手納基地一時使用に係る日米間取り決めの締結に貢献 * 那覇基地滑走路工事間の嘉手納基地での緊急待機の航空機の整備支援に積極的に貢献

## 嘉手納基地での表彰式

平成17年度のJAAGA賞の授与が嘉手納基地を皮切りに始まった。平成18年1月28日（土）19：00から米空軍嘉手納基地において米空軍年度優秀隊員表彰式が開催され、その席上で本年度のJAAGA賞が伝達された。

JAAGAからは細副会長と石津・那覇支部長が出席し、副会長から米空軍嘉手納基地第18航空機整備中隊のベネット曹長及び空自南西航空混成団司令部上條空曹長に感謝状と記念の楯が贈呈された。

ベネット曹長は航空自衛隊の嘉手納基地一時使用に係る日米間取り決めの締結及び那覇基地滑走路工事間の嘉手納基地での緊急待機の航空機の整備支援への積極的な貢献、また上條空曹長はスペシャ

ルオリンピック等の米軍行事への積極的参加、サマーフェスタ等航空自衛隊行事への米軍招待、米軍人を招聘してのイラク人道復興支援要員等へ英会話訓練の円滑実施等における貢献が高く評価された。

那覇基地からは基地司令の滝脇博之空将補以下6名が参列され、受賞者を称えた。（那覇支部）



JAAGA Award in Kadena

## 横田基地での表彰式

平成18年2月4日(土)、横田基地の下士官クラブに300人を越す軍人及びシビリアンが礼装(メスドレス)で参集し、米軍横田基地司令グッドウイン大佐(第374空輸航空団司令官)主催の横田基地年間優秀者選考会兼表彰式が賑々しく実施され、この式典の中でJAAGA賞の表彰も行われた。

JAAGA賞は竹河内理事長から横田基地第36空輸隊ジェフリーJ.ダウズ大尉、空自開発集団司令部の准曹士先任杉山弘准空尉、そして空自総隊司令部の武田 宗明1等空曹の3名に対し、その功績を紹介した上で授与され、被表彰者には表彰状と記念の楯が手交された。

ダウズ大尉は、令夫人と共にJAAGA賞の被表彰者テーブルで大変晴れがましそうに関係者と懇談していました。杉山准空尉には令夫人が同伴されましたが、令夫人は下士官交流の場を通じ何度もこのような場を経験されているとのこと、落ち着いた様子でご主人の表彰される姿を優しく見守っていました。また武田1曹には、沖本 利實2等空佐(総隊司令部監理班長)

と通訳として米戸直子3等空曹が参加し、カクテル・タイム及びデナーの時には米軍人、シビリアンとの交流を積極的に交流しておりました。現役将官は宮本泰夫空将補(開発集団司令部幕僚長)のみでしたが、メイン・テーブルで多にその存在感を示してくれました。

表彰後竹河内理事長はスピーチで、JAAGAの存在意義、被表彰者3人の功績紹介をす

るとともに、昨年のスマトラ沖地震では第374空輸団が特筆すべき支援行動をされたこと、また空自にあっては南西アジアでの輸送業務をはじめ、過去になかったような多様な任務を実施、また活動のエリアも拡大の一途をたどっている旨、さらにJAAGAは米空軍と航空自衛隊との相互理解と友好親善に資するということが目的であり、これからも、各種各様の形でご支援したい旨述べた。

式典では「日米両国歌」を3人の小学生がアカペラで歌ったが、何処から見てもアメリカの小さな女の子二人が「君が代」を、和服振袖を着た何処から見ても日本の女の子一人が「アメリカ国歌」を歌い、参加者全員に強い印象と感激を与えてくれた事を捉え、竹河内理事長は、今晚我々に一番大きな感動を与えてくれたのはあのかわいい女3人であり、表彰に値するグッド・パフォーマンスであったと締めくくられ、アドリブの効いたスピーチに喝采の拍手を鳴り響かせながらスピーチを終えた。

(榎常務理事記)



JAAGA Award in Yokota

## 三沢基地での表彰式

平成18年2月10日（金）夕方、米空軍の三沢基地2005年度優秀隊員表彰式が下士官クラブ“Tohoku”で開催された。式典は国旗入場に続き、米空軍人による日米両国歌の無伴奏独唱、来賓及びVIPの紹介、従軍牧師の祈祷、引き続いて兵士、下士官、上級下士官、将校、シビリアン等の各部門別に被表彰候補者が一人ずつ紹介され、ディナーとなった。

ディナー終了後、JAAGA賞の授与式が始まった。本部から出席の山口副会長は表彰の機会を頂いたことに対する謝意を述べた後、英文の表彰状を読み上げ、各受賞者に表彰状と記念品の楯を手渡した。

米空軍のローレンスP.ハント4世空軍曹長は自衛隊と第35戦闘航空団が共同実施する緊急事態訓練、共同演習、戦闘即応訓練を率先指導し、空自三沢基地カウンタ・パートとの友好的かつプロフェッショナルな関係の構築や、日米隊員相互交換プログラムの一員としての活躍等、日米友好親善の促進に貢献した功績により表彰された。また、航空自衛隊北部航空警戒管制団第1移動警戒隊の松川寛直准空尉は

三沢基地准曹会会長として日米の相互理解と関係強化に尽力、特に日米交流行事（基地綱引き大会、米軍三沢基地研修、ダイニングアウト等）を適切に調整する等、日米の下士官及びその家族間の交流に貢献した功績により表彰された。

米軍の表彰式は、各部門毎の最優秀者に対して基地司令官から記念品を授与され、記念写真を撮って席に戻るだけで、認められた功績が紹介されるということはありませんでしたが、受賞者と奥様が同席することができるため受賞者にとって嬉しさもひとしおと思われた。また、各テーブルはVIP席以外は各部隊毎に着席しているため、所属部隊から最優秀者が出るたび日本の応援団のように先導者の声に大声で唱和したり、スプーンでテーブルを叩いたり、式典の堅苦しさよりは式典を楽しんでいるといった雰囲気が強く出ていた。

食事あり、酒も自由の約2時間にわたる表彰式であった。  
(小澤・三沢支部長記)



JAAGA Award in Misawa

## SPORTEX'05B 大成功裏に終了

11月23日（水）勤労感謝の日、航空自衛隊と米空軍との相互理解及び友好親善の増進を図るというJAAGAの目的に則ったSPORTEX'05Bが米軍多摩ヒルズ・ゴルフ・コースで開催された。

航空自衛隊から吉田航空幕僚以下28名、米空軍からはリハイザー5空軍副司令官をはじめ31名、そしてJAAGAから村木会長、竹河内理事長を含む会員38名、合計97名がエントリーした。空自、米軍、JAAGA各メンバーがバランスされた26組のパーティに分散し、午前7時にショットガン・スタートで開始された。本SPORTEXも回数を重ね、開会式・ルール説明もスムーズに出来るようになり、村木会長、吉田幕僚長、リハイザー副司令官からは表現こそ違っても「天気は良い、ゴルフ場は整備完璧、パートナーも文句なし、18ホール終わっての結果は自分の腕次第だね。No excuse, Let's enjoy! 」と激励のあいさつを頂いた後、6時45分に指定ホールに向けカートを一斉に発進させた。

午前7時、クラブハウスから甲高いホーンの合図で、各組は朝露に濡れたティ・グラウンドから、小春日を予感させる無風状態の空に向かって豪快にショットを放ちトーナメントの火蓋は切られた。各ホールのピン・ポジションはスコア・マークに易しい奥目に切られており、電話、Eメールそして膝を交えて交渉してきたクラブ側の心遣いを感じた。最高のコンディションの中、日本人の英語、アメリカ人の日本語、加えてボディ言語入り混じった和気藹々の雰囲気競技は進行した。

全ショート・ホールはニアピン賞、9番と17番がドラコン賞、ニアピンは難易度の高い7番はあわやホールインワンという10センチ足らず、15番でも10センチ余りに、ドラコンホール17番（パー4）では何とピンまで50ヤードを残す位置にフラッグが立っており、「語学・ゴルフ・パソコンの腕自慢はするな! 」と世に言われている言葉を実感しました。

12時頃から次々とプレー終了者がクラブハウスに戻り、提出されたスコアをボランティアが集計した。各組毎にトーナメント・ランチと称するビーフ・ステーキを頬張りながら18ホールのプレーを一緒に、ゴルフ技量・語学スキル・各人のバックグラウンドの理解が進んだ事もあり、ワイワイガヤガヤと歓談し相互理解と友好親善の実は大いに上がった。今回は1位から3位、ベスト・グロス、ブービィの各賞は航空自衛隊・米空軍・JAAGAのグループ毎に授与された。その他、グループに関係なく5位毎の飛び賞と3人の女性参加者に特別賞が授与された。吉田空幕長から三つの特別賞品が寄贈され、当日賞として各グループの23位に授与された。グランド・チャンピオンは補給本部から参加の草野義幸空曹長が獲得。スコアはアウト38・イン39のグロス77、ハンディ11でネット66の素晴らしいものでした。米空軍の1位はMr. Whetstone, Zane。グロス75・ハンデー7でネット68。JAAGAの1位は村木会長でグロス94・ハンディ24・ネット70でした。また、吉田幕僚長は空自3位でした。

今回のSPORTEXでも、米空軍1名、空自1名、JAAGA5名、計7名のボランティアは受付け、ドリンク・カー、通訳・スコア集計等大会運営に尽力され、SPORTEX'05Bは滞りなく終了した。

（榎常務理事記）



The First Party

## JAAGAの三沢基地研修



JAAGA Members visit to 35th Fighter Wing

昨秋から延期になっていたJAAGA賛助会員の三沢基地研修が去る3月13日・14日の両日に催行された。ナブテスコ（株）渡邊和夫氏を団長とする法人賛助会員13名、個人賛助会員7名の計20名が参加され、JAAGAから森和彦常務理事以下6名が東京から同行し、小澤満昭三沢支部長と山本親男事務局長が合流し研修を支援した。

3月13日朝、入間基地ベース・オペレーションに全員して、研修に関する全般説明、C-1輸送機の搭乗前ブリーフィング等を受けて搭乗。高度23,000フィート、速度375ノットの快適な飛行の後、11:45に三沢基地へ着陸。米空軍第35戦闘航空団司令アンジェラ准将及び航空自衛隊第3航空団司令平田空将補の出迎えを受け、3空団司令部に移動して監理部長平沼2佐から三沢基地の概況説明を受けた。北部航空方面隊、三沢基地、三沢市等の概要、最近のスクランブル状況、米軍との連携等広範囲に亘る中身の濃い説明があった。研修者は新鋭のF-2戦闘機の説明に高い関心を示した。昼食後、35戦闘航空団に移動した。アンジェラ准将が同席する中、レッドフィールド大尉による概況説明を受けた。こ

の航空団が「ワイルド・ウイゼル」として「WHERE WE MAY DEPLOY」（何処にでも）をスローガンに高練度を維持し続けていること、推進中の大規模な施設計画、上級司令部からの数々の輝かしい表彰等の興味深い説明があった。午後2時からF-16型機、兵装、シミュレータ等、航空自衛隊で保有のない装備品に関心が集まった。圧巻はF-16型機搭載のF110型エンジンのフル・アフターバーナの試運転をエンジン・テスト・セル内研修したことである。耳栓を挿入し、イヤーマフラーを装着し

ての至近距離からのエンジン試運転の見学では凄まじい爆音と振動に全員圧倒された。その後、バスツアーでの基地主要施設を巡る見学を実施した。13日の研修を全て終了し基地内にある米軍の外来宿舎（VOQ）にチェック・インした。

午後6時から米軍三沢基地将校クラブでJAAGA主催の懇親会を開催した。米空軍からはアンジェラ司令官以下の主要幹部、空自から林・北空副司令官、平田3空団司令以下の主要幹部が参加された。カクテル・タイムで会話を楽しみ、ゴージャスな米国式ディナーを堪能した。パーティ途中で、この日で80歳の誕生日を迎えた研修参加者の大山義一氏にバースディ・ケーキがプレゼントされた。粋な計らいに雰囲気は更に盛り上がった。午後8時に懇親会は終了した。有志は三々五々と市内に繰出し、三沢の夜をエンジョイした。

翌14日、空自用意のバスで三沢管制隊に移動。同隊ではビデオによる概況説明の後、管制塔と最新のラプコン・センターを研修した。管制塔では絶好の天気恵まれて周辺の景観も楽しむことができた。続いて第8飛行隊のF-4EJ改の研修しすると

もにランプ地区で空対地射爆撃訓練用の兵装作業を見学した。研修者は兵装作業に大変興味を示された。その後、飛行場北側地区に移動し掩体内のF-2A戦闘機を研修。前日の米空軍のF-16型機との比較・相違等活発な質問があり、研修者のF-2型機に対する関心の高さを知ることが出来た。次いで隣接する三沢ヘリコプタ空輸隊のCH-47J型機の研修を実施した。季節柄スキーを装着した機体を見ることができた。北地区研修の後、南地区に戻りE-2型機の研修を実施。オリジナルが空母運用の機体であることから、陸上機との差異に興味を示した。

昼食後、北空司令部に移動し新野北空司令官講話を拝聴した。北空でのスクランブルの実態、コープ・サンダ演習参加、コープ・ノース・グアム訓練参加等、参加者一同には関心の高い講演内容であった。三沢での全ての行事を終了、午後3時発のC-1特別便で三沢を離れ、午後4時15分に入間基地に着陸し、研修を終了した。今回も参加者は一様に日米の戦闘航空団の高い練度を維持し、活動する状況に直接触れ、深い感銘を受けている様子が随所に見えた。大成功の研修であった。

(村田常務理事記)

## 「北の守りの要

## 三沢基地研修」

ナフテスコ株式会社 航空宇宙カンパニー  
営業部長 渡邊和夫

1. 冬が逆戻りしたかの様な肌寒い三沢基地にC-1輸送機で降り立った3月13日、我々JAAGAメンバーを迎えてくれたのは、米空軍第35戦闘航空団司令官アンジェラ准将と第3航空団司令平田空将補ら幹部の皆様であり大変恐縮しました。研修は、この驚きと感激から始まりました。私はJAAGA研修に初めて参加しながらも団長という大役を仰せ付き大変緊張しておりました。それをJAAGA常務理事森和彦氏ら役員の皆様のサポートで無難にスタートが出来ました。厚く御礼申し上げます。

この米軍での研修中、ご多忙の中、司令官自ら我々をエスコート頂き、メンバー一同感謝の念で一杯でありました。

翌日14日は、前日の夕食会と同じく、基地内将校クラブで朝食を司令官やスタッフの皆さんと暖かいおもてなしを受けました。夕食会ではJAAGAメンバーの一人が80歳誕生日となり、司令官から“誕生祝い・歌・ブルーケーキなど”祝って頂き、皆、感激でありました。司令官殿の人柄に敬服申し上げます。

2. 13日初日は、アンジェラ司令官からブリーフィングを受けた後、F-16戦闘機・装備を見学、またシュミレーション体験などさせていただきました。そして、F-16用エンジンF110のメンテナンス工場では在韓米軍のエンジン(F110-110)のメンテナンスも三沢米軍基地で集中メンテを行っていることを伺い、その数量の多さに驚き、又、エンジンテストショップでは、アフターバーナーを焚いた状態を近くで拝見し、その風圧や轟音を体験出来、誠に感激の連続でした。

3. その後、三沢基地研修が始まり、新築されたば



At Engine test cell "After burner ON!"

各スタッフからは、状況を丁寧に説明して頂き、

かりの管制隊を見学した。管制範囲の広さや日米および民間機の管制と難しい業務をこなされておられた、また、F-4戦闘機、F-2戦闘機、CH-47輸送機そしてE-2C早期警戒機の各ハンガーを研修し、各隊長やパイロットの皆さんから丁寧なブリーフィングを受け、我々の細かな質問にも丁寧に対応して頂き、予定時間を大幅にずれ込み皆様にご迷惑をお掛けしました。各隊での状況が大変よく理解でき、感謝申し上げます。

最後に、北部航空方面隊司令官新野修空将殿の講和を伺い、更に北の守りの難しさや緊張緩和していない現実を実感出来、感謝申し上げる次第であります。

す。

4. 私はこの研修を通じて、米空軍第35戦闘航空団の高いモチベーションに驚きと感謝し、また航空自衛隊第3航空団の緊張高まる北方の守りに専念しつつ三沢市をはじめ地域活動にも積極的に活動されておられる姿に感激とともに嬉しく思いました。

厳寒の中、日々鍊度を高めつつ、多忙の中、私たちJAAGAの研修を暖かく受け入れてくれました三沢基地の皆様と計画遂行していただきましたJAAGA役員の皆様はこの紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。本当に忘れられない三沢基地研修でした。有難う御座いました。

## 三沢基地研修感想

三井物産エアロスペース株式会社  
山村隆介

3月13日及び14日の二日間にわたり「JAAGA三沢基地研修」として米空軍三沢基地（第35戦闘航空団）と航空自衛隊三沢基地（第3航空団）を訪問、見学させていただきました。

現在の職務に就いてから日が浅く、今回の研修は自分の研鑽を深めるという点で大いに有意義であり、また航空自衛隊、在日米空軍の高官の方々及び他の参加者の方々とも交流を深める事ができ、こちらも良い経験となりました。

研修は自衛隊機のC-1輸送機に搭乗し、三沢基地に向かうことから始まり、三沢基地では米空軍及び空自の基地司令自らお出迎え頂きました。米空軍では第35戦闘航空団司令部にて三沢基地概況説明を受けた後、F-16実機及び各装備品、またF-16用シミュレーター、同機用F110エンジン等を米空軍の方の丁寧な説明のもと見学いたしました。特にF110エンジンショップにおいては、実際のテストも見学させていただき、飛行機のエンジンがどれだけのエネルギーを生み、飛行機が飛べるようになるのかという事を身を以て体験いたしました。夕食は米空軍及び空自の方々と共に会食、貴重なお話しを伺

いました。一方、航空自衛隊では、管制隊にて管制施設の見学、第3航空団ではF-4及びF-2の実機を見学し、三沢ヘリコプター空輸隊ではCH-47Jの実機見学を致しました。

また、警戒航空隊にてもE-2Cの実機を見学させて戴きました。何れも隊長級の方々から直々にご説明を頂き、実際に各部の説明を受け、航空自衛隊におけるそれぞれの部隊、航空機の性能や運用といったものの理解を深めることができました。

三沢基地は航空自衛隊、米空軍、民間エアラインが協同で使用している唯一の場所であり、その特殊性や日米での文化の違いといったものも基地見学の間に感じられました。

本研修では、実機を見学し、稼働しているところを見ることができ、今後の仕事を行なっていく上で大変貴重な経験をさせて頂いたと感謝しております。

最後に、今回の研修にてご案内して戴きました向日米空軍及び航空自衛隊三沢基地の方々に御礼申し上げますと共に、このような貴重な機会を与えて戴き、また、研修中にご尽力戴いたJAAGA理事の皆様へ厚く御礼申し上げます。

# 米空軍軍人の日光研修

## 高柳氏の支援により 5 空軍副司令官夫妻をはじめとする 米軍人等が日光を研修

平成17年11月15及び16日の両日、米空軍 3 家族が日光を研修した。本研修は、宇都宮在住の個人賛助会員高柳實氏がかねてから米空軍軍人に対する日光研修に関する支援を申し出られたのを受け、JAAGAが平成17年度事業として計画し、調整をすすめ、この度、3年越しに実現したものです。

参加者は、5 AF副司令官リーハイザー准将ご夫妻、前 5 AF司令部作戦部長（現在日米軍司令部第 3 部長）ハーヴェィ大佐ご夫妻、5 AF司令部作戦幕僚エファソン少佐ご夫妻そして通訳兼調整役としてハセベ氏が同行し JAAGAからは渉外担当理事山本が案内・世話役として妻とともに参加しました。

出発時は霧雨が降っていましたが、宇都宮ICに

近づくと頃には、あちこち晴れ間が見え始め、参加者はウキウキ、一気に明るいムードとなりました。宇都宮 ICを降りた所で、高柳さんご夫妻はじめ支援をいただく方々の歓迎を受けました。ご挨拶の後、日光杉並木を楽しみながら、金谷ホテルへ向かいました。金谷ホテルは紅葉の赤がよく似合う日本最古の木造建築の美しいホテルでした。このホテルはヘレン・ケラーや秩父宮殿下も宿泊され、ホテル内の絵画や木彫りの内装や宿泊客等のサインや写真が廊下やロビーに展示してありました。昼食後、いろは坂を経由して、「華厳の滝」を見学、二荒山（ふたらさん）神社に参拝、同神社宝物殿を見学した後、戦場ヶ原の散策しました。二荒山神社では、厳かな雰囲気の中で、巫女の舞 2 曲が舞われ、ま



Yomeimon Gate

た、リーハイザー副司令官は、参加者を代表し、緊張した面持ちで玉串を奉てんし、参加者一同も古式に則り2礼、2拍手、1礼の拝礼をしました。宝物殿には国宝や重要文化財である刀剣類や山車等が展示され、研修者一同は大変興味深い様子で研修しておりました。宿泊は帝国陸軍の鮫島師団長（後の陸軍大将）が明治天皇から下賜された別荘跡に建てられた宇都宮グランド・ホテルでした。ホテル内の中華料理店「北京」での夕食会では、高柳實氏ご夫妻、娘さんの堀川典子さん、奥様の兄様の大橋氏、甥の高柳昌喜氏ご夫妻、三浦氏（防大4期）のご歓待を受け、本当に打ち解けた時を過ごすことができました。

翌日16日は朝から快晴。朝食後、ホテル内の広大な日本庭園を楽しんだ後、東照宮へ向かいました。東照宮では、紅葉真っ盛り、豪華絢爛の建物や三猿、眠り猫、鳴竜などの彫刻・絵画等を見学し、日本の歴史・文化への興味を大いに高めて頂いたものと思います。林の中の洋風レストランでの昼食後は「日光江戸村」へ。「日光江戸村」に入ると、そこは江戸時代そのもの、チョンマゲを結った侍、建物、衣装、雰囲気等、よくできておりました。また、迫力

のある太刀回りに圧倒される忍者ショーと絢爛豪華な花魁ショーの2つのショーを観劇、予定を1時間もオーバー楽しみました。

日光を十分堪能した一行に、名残惜しい別れの時が来て、固い握手と「ありがとう」「またお会いしましょう」のエールの交換。更に、高柳氏から蜜柑1箱を頂き、帰路につきました。リーハイザー副司令官をはじめ皆さんから、深い深い感謝の言葉がありました。

米空軍参加者一同、素晴らしい紅葉を見ながら、日本の歴史、文化等はもちろんのこと、高柳氏はじめ現地の方々の熱い心を十分味わって頂き、また、JAAGAに対するお気持ちも新たにさせて頂いたものと思います。

本研修を成功裏に終わることが出来たのは、高柳實氏等のご努力・ご支援やこれまでの会長初め歴代関係者の貢献が報いられたものあり、また、ライト司令官、横田基地のコールマン氏、ハセベ氏等が本研修に積極的に動いていただいた結果と考えます。皆さん、どうもありがとうございました。

（山本常務理事記）



## ライト中将招待のクリスマス・パーティ

平成17年12月3日（土）、在日米軍司令官ライト中将の招待によるクリスマス・パーティが横田基地内にある司令官公舎で開催された。当日は近隣の地元関係者、航空自衛隊・JAAGA関係者及び内局・統幕勤務者の3グループ時分割のパーティとなった。



Lt.Gen.Wright & JAAGA members

当日午後3時から5時の間、空幕長、副長、各部長、総隊司令官、中空司令官等の空自の主要幹部と山口・細、香川、山本、坂東（以上夫妻出席）、越智、榎、渡邊の本協会役員が参加した空自・JAAGAグループのパーティとなった。招待者全員が航空自衛隊関

係者であったことでフォーマルな中にも家族的な雰囲気が満ちており、航空自衛隊との連携協力が大変素晴らしく、年々その密度が濃くなっていることを実感した。下士官交流支援、共同演習時の支援、日光研修、SPORTEX等、JAAGAの行事が着々と実績を上げてきており、話題に事欠かないパーティでした。なお、竹河内理事長は統幕の枠で招かれこのパーティに参加されず、5時からのパーティに参加された。

（榎常務理事記）

## 横田基地司令招待のクリスマス・パーティ

平成17年12月10日（土）午後1時から横田基地将校クラブで横田基地司令兼第374空輸航空団司令スコット P.グッドウィン大佐主催のクリスマス・パーティが開催された。基地周辺自治体、防衛庁及び当協会等から約90名が招待された。JAAGAから山岡、榎、越智各会員及び阪東、村田各夫妻が参加した。パーティ会場はクリスマスの飾り付けが施され、ステージでは軍楽隊が馴染みのクリスマス・ソングを演奏し、ムードを盛り上げた。グッドウィン基地司

令は「基地の任務を遂行する上で、ここに参加下さった皆様の協調と協力は必須かつ不可欠なもので、謝意を込めたこのパーティで共にくつろぎ、楽しみたい。更に、来年の日米友好がより大きく発展することを切に望む」とスピーチした。ゴージャスなクリスマス料理を堪能しながら会話が弾んだ。会場内の随所で既知の米軍関係者等との懇談が行なわれており、榎常務理事は10月はじめのシビック・リーダー・ツアーの参加者との旧交を温めたり、SPORTEX0

5Bに参加した在日米軍司令部参謀長ブラウン大佐とJAAGAの活動について話し合う姿も見られました。今後共、このような機会に積極的に参加しJAAGA活動の発展に役立てるとともに、実施した成

果を日米相互で確認し合うことの大切さを改めて確認した。楽しい時間はアッという間に過ぎ、会場を後にした。

(村田常務理事記)



Col. Goodwin

## 嘉手納基地司令主催のクリスマス・パーティ

12月11日(日)、嘉手納基地司令兼第18航空団司令のジャンマーク・ジュアス准将からJAAGAへの招待に応じ、石津沖縄支部長の他、協会本部から森、越智、松井の各常務理事が出席した。本年のオープン・ハウスは航空自衛隊の那覇航空祭に併せて開いて頂いたお蔭で、両方に参加することができた。ジュアス准将にお会いした折、招待への御礼とともにテキサス州サンアントニオ市のラックランド空軍基地にある空軍情報庁副司令官へのご栄進のお祝いと、昨年3月2、3日の両日にかけて実施されたJAAGA代表団の嘉手納基地訪問に対する絶大な支援への御礼をお伝えした。各界から100名にのぼる招待者は広い公邸庭園の中に設営された特設会場のそこか

しこに集まり、美味しい料理とワインで大いに場が盛り上がった。

冒頭各界の代表のひとつとしてJAAGAが紹介された。

(越智常務理事記)



Brig.Gen.Jouas

## 平成18年福生・横田交流クラブ 新年会に参加

例年は1月末に実施されていた福生横田交流クラブの新年会が2週間程遅れて2月15日(水)6時半から米軍横田基地将校クラブで開催された。当協会からは大串理事以下4名が招待されて出席した。

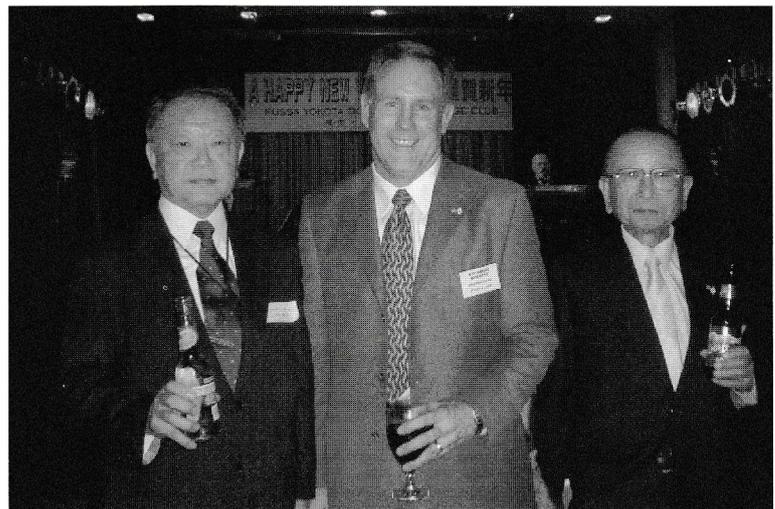
福生横田交流クラブの石川会長は挨拶の中で、本クラブが1989年3月23日に設立されてから今年で18年目になること及び過ぎし年月を振り返れば、最近とみに福生市と横田基地との距離が近づいてきているという実感があるとの印象を述べられた。これは

2プラス2で航空自衛隊の司令部が横田基地に移動するとの報道や共用飛行場の話などが具体的に上がってきていることも影響しているものと思われる。現に福生市だけでなく周辺の瑞穂町、あきる野市にも交流クラブができそれに続いて羽村市もその準備をしているとの事であった。挨拶の最後は日本ほど自由で豊かで安全な国はないと思うが、その根幹は日米安保条約の存在と友好の絆のお蔭であるとの言葉で締めくくられた。

(越智常務理事記)



kagamiwari ceremony



President Ishikawa & Col. Goodwin

# 10周年記念行事のお知らせ

## 7月11日GH市ヶ谷で マイヤーズ前統参議長の講演ほか

早いものでJAAGAが誕生してから本年度10年を迎えます。振り返りますと1996年7月5日東京プリンスホテルで関係各界のご来賓の方々を含む総勢150名余で産声を上げたのがつい昨日のように思い興しています。発足当時の会員は約200名で法人約30社の参加を得ての発足でした。初代会長には大村元航空幕僚長、副会長に鈴木元航空幕僚長、松村元補給本部長が、理事長には石塚元航空幕僚長が指名されました。だより創刊号には総会では約50名の会員の出席のもと鈴木委員により趣旨及び経緯の説明が行なわれ、次いで石川委員による会則、事業計画、長谷川委員による財務報告等が行なわれたとの記述があります。大村会長は就任挨拶のなかで本会の目的は極めて明快であり仲良しクラブではないという事を会員はよく認識し、ボランティアに徹し、多くの見返りを期待するのではなく奉仕の精神で活動に参加して欲しい旨の挨拶があ

りました。この精神は今も連綿として受け継がれていると自負しております。10周年を迎えるにあたり7月11日(火)GH市ヶ谷において記念式典及び関連行事を計画しております。記念講演には設立準備段階と設立直前まで極めて積極的にご尽力いただいた在日米軍司令官兼5空軍司令官で前統参議長のマイヤーズ空軍大将(退役)にお願いし、現在関係各機関等と調整しております。なお今回初めての試みですが法人賛助会員による企業展示も計画しております。現在までのところ、略称等、順不同ですが、IHI、兼松、KHI、新明和、双日、東芝、日立、フィルインフォメーション、富士通、三井物産エアロスペース、横河電機、ロッキードマーチンの12社に参加登録していただいています。皆様の積極的なご参加を期待しております。

(10周年記念行事準備委員会事務局)

### 講演等の要望を募ります

## 「安全保障に関する日米関係」等

防衛協力のための指針や物品役務相互提供などに関する論議がしばしば行われる昨今、事務局では日米関係の現状や展望に関するより良い理解の

ため、主として基地周辺の皆様を対象とする講演、懇談会等を企画できるよう準備しています。ご要望あれば御一報下さい。 J A A G A事務局

## … 新入会員の紹介 …

### 1 正 会 員

氏 名 勤 務 先	〒	住所・電話番号（上段：自宅、下段：勤務先）	
名 富 忠 夫	903-0801	那覇市首里末吉町3-72-7	098-887-5432
日 野 自 動 車 (株)	191-8660	日野市日野台3-1-1	042-586-5658
小 川 徳 彌	904-2141	沖縄市字池原 943	098-934-2052
大和リゾート(株)	904-0394	中頭郡読谷村字宇座1575	098-958-5000
古 門 茂 夫	901-1301	島尻郡与那原町板良敷783-3	098-946-2855
大京整備(株)	902-0072	那覇市字真地193	098-831-9312
竹 下 實	904-1102	うるま市石川東山1-4-6	098-964-3621
弘 濟 企 業 (株)	904-1102	うるま市石川東山1-4-6	090-2398-5146

### 2 個人賛助会員

氏 名 勤 務 先	〒	住所・電話番号（上段：自宅、下段：勤務先）	
佐 藤 江 津 子	190-0021	立川市羽衣町2-5-26	042-524-3261
都 市 出 版 (株)	102-0071	千代田区富士見1-5-8	03-3237-1790
小 山 英 明	176-0013	練馬区豊玉中2-11-7-701	03-3994-4430
小山耳鼻咽喉科医院	176-0012	練馬区豊玉北5-18-6	03-3991-4683

### 3 法人賛助会員

法 人 名 代 表 者	〒	住 所 ・ 電 話 番 号	
丸一土地建物(株) 関 輝 夫	260-0012	千葉市中央区本町2-3-17	043-224-6561

## 会 員 募 集

J A A G A は、今年で創立10周年を迎え、更なる前進を目指して会員の会勢拡大に努めております。

会員の皆様の勧誘、推薦、情報提供に関するご協力、ご支援を是非とも宜しくお願い致します。  
なお、個人会員の入会につきましては、次のとおりです。推薦若しくは情報提供を頂いた方には直接会員担当の係から連絡させていただきます。

#### 【入会資格】

正 会 員 : 航空自衛隊のOB

個人賛助会員 : 航空自衛隊のOB以外の方で、正会員3名の推薦が必要です。

#### 【連絡先】

【郵便】〒105-0004 東京都港区新橋5-25-1-3

日米エアフォース友好協会 会員担当行

#### 【電話】

03-3489-1120 尾 崎 利 夫 (東京航空計器(株))

03-6716-4303 村 岡 亮 道 (三菱重工業(株))

03-5400-4722 宇都宮 靖 (横浜ゴム(株))

03-3286-0339 新 井 洋 一 (新東亜交易(株))

03-3213-0270 鬼 塚 恒 久 (三井生命保険(株))

03-7616-4319 正 岡 富士夫 (三菱重工業(株))

## ワンポイントQ&A

### Q JAAGAとは？

**A** JAAGAは、航空自衛隊と米空軍との相互理解と友好親善の増進に資することを目的とし、現役の皆さんが仕事をやりやすい環境作りに寄与しようという航空自衛隊OB主体の組織です。

### Q 協会の運営は？

**A** JAAGAは、ボランティアに徹し見返りを求めないこと、及び努めて現役の皆さんに負担を掛けないことを方針として運営しております。多くの皆様の期待に応えるべく、さまざまなアイデアを取り入れ、活動の幅を広げ、種々の事業を展開してまいります。

### Q 私も参加できますか？

**A** JAAGAは、その活動をより活発にするため、個人会員の会勢拡充に努めております。航空自衛隊のOBの方は、どなたも正会員として入会できます。また航空自衛隊OB以外の方でも、個人賛助会員として入会の道があります。

## ☆ 原稿募集 ☆

皆様からのフリーな投稿や、JAAGAの活動に対するご意見やご要望を頂戴し

### 皆様と共に歩むJAAGA

として更なる発展を期していきたいと思っております  
皆様の貴重なご意見や各種投稿をお待ちしています



### 投稿受付

越智 通隆 Tel 03-3437-8972 (三井物産エアロスペース)

Fax 03-3437-8755